

未来社会創造事業 探索加速型
「個人に最適化された社会の実現」領域
年次報告書(探索研究期間)

令和3年度 研究開発年次報告書

令和3年度採択研究開発代表者

[研究開発代表者名:中澤 徹]

[国立大学法人東北大学大学院医学系研究科・教授]

[研究開発課題名:マルチモーダル AI を用いた視覚指標による幸福度評価]

実施期間 : 令和3年10月1日～令和4年3月31日

§1. 研究開発実施体制

(1) 中澤グループ(東北大学)

- ① 研究開発代表者: 中澤 徹 (国立大学法人東北大学大学院医学系研究科・教授)
- 文化的背景横断的なウェルビーイング指標の作成とセンシングデバイスのデータ統合
- ・文化的背景横断的なウェルビーイング指標の作成
 - ・マルチモーダル AI 開発
 - ・幸福度を反映する血中バイオマーカー探索

§2. 研究開発成果の概要

今年度は、まず、主観的ウェルビーイングを簡便に測定できるモノサシの作成に向けて、コンピュータ適応型テスト(Computer adaptive testing: CAT)作成の基礎的資料の準備のために、文献調査と Web 調査を実施した。文献調査により本研究で測定したい主観的ウェルビーイングの概念に即した尺度が存在したので、4 尺度を選定し項目プールが作成された。この項目プールは CAT の条件である次元性を持つこと、さらに分解すると 3 次元(主観的幸福度、生活満足度、ポジティブ感情)の構造を持つことが明らかになった。また、主観的ウェルビーイングの項目プールに収められた各項目の難易度が推定され、CAT 作成のための項目の基本構造が明らかになった。

【代表的な原著論文情報】

該当なし。